

令和4年度 新潟市の取り組み

～明るい未来を切り拓き、
選ばれる新潟市を実現～

新潟市長 中原 八一

INDEX

1. 当初予算案のポイント

- ・ 当初予算編成の力点
- ・ 課題解決に向けた戦略
- ・ 当初予算案

2. 感染拡大防止対策と経済社会活動の再興

- ・ 本市の状況
- ・ 感染拡大防止対策
- ・ 経済社会活動の再興

3. 選ばれる都市 新潟市

- ・ 暮らしやすいまち
- ・ 訪れたいまち
- ・ ビジネスを展開するまち

4. 都心のまちづくり

- ・ 「にいがた2km」の覚醒

5. 次期総合計画策定について



当初予算編成の力点

最優先課題

市民の命と健康を守り、平穏な市民生活を一日も早く取り戻すため
「感染拡大防止対策」 & 「経済社会活動の再興」

2つの視点から取り組みを両輪で推進

最重要課題

人口減少時代に適応した
持続可能なまちづくり

4

当初予算案

	R3	R4	増減	
一般会計 当初予算	3,866億円	3,924.5億円	+58.5億円	+1.5%

- ▶ 「感染拡大防止対策」「経済社会活動の再興」に向けた取り組み **68億円**
12月補正(56億円)、2月補正(80億円)と一体的に実施
- ▶ 「にいがた2km」に関する取り組み **28億円**
(前年度+12億円)
- ▶ 衛生費(新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保など) **324億円**
(前年度+58.6億円)
- ▶ 総務費(税系システム等の最適化など) **418億円**
(前年度+14.4億円)
- ▶ 普通建設事業費(新潟駅周辺整備の推進など) **331億円**
(前年度+6.4億円)

5

戦略1 強固な財政基盤の確立

◆ 集中改革プランに基づく行財政改革の実行

令和元年度から3年間における集中改革期間の効果

全体376事業 58.1億円

生み出した効果を

子育て施策の充実、企業誘致や

産業のDX推進、都心エリアのまちづくりなどに活用!

DX(デジタルトランスフォーメーション)
⇒デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

<財政健全化への道筋>

・基金残高	35億円 (H30年度末)	⇒ R3年度	107億円 (+72億円)
・市債残高	3,864億円 (H30年度末)		3,802億円 (△62億円)

※いずれも年度末見込

◆ 財産経営の更なる推進

改定する財産経営推進計画に基づき、次世代の市民が安心・安全に利用できるよう、施設の最適化を進める

6

戦略2 誰もが「暮らしやすいまち」を地域とともに創造

◆ポイント

- ・都市と田園が調和した都市環境
- ・コロナ禍による人々の意識の変化



「暮らしやすさ」
をさらに高め、PR

「暮らしやすいまち」として「選ばれる」

◆令和4年度の主な取り組み

- ・結婚・出産・子育て期の切れ目のない支援
- ・地域共生型のまちづくり



人口流出を食い止め、人口減少を緩和

7

戦略3 官民連携で「訪れたいまち」「ビジネスを展開するまち」を創造

◆ポイント

- ・まちづくりの大きな転換期
- ・「食」と「農」などの強みと都心のコラボレーション



都心エリアの
拠点性をさらに高める

成長エネルギーを
市域全体へ波及

「訪れたいまち」「ビジネスを展開するまち」
として「選ばれる」

◆令和4年度の主な取り組み

- ・「にいがた2km」を新潟市の成長エンジンへ
- ・既存産業の高度化



魅力ある雇用を創出、住民福祉に投資できる税収を確保

8

2 —

感染拡大防止対策と 経済社会活動の再興

9

本市の感染状況



新型コロナワクチン接種

◆ 3回目接種

▶ 医療従事者・施設従事者等

R3.11月～ 接種券発送、12月～ 接種開始

▶ 高齢者・一般（18歳以上）

R4.1.13～ 接種券発送開始

※ 2回目の接種時期に応じて順次発送

※ 接種券が届き次第、予約・接種

2月～ 接種開始

※3月上旬に全ての年代で6か月に前倒して
接種券を発送予定



11

感染拡大防止対策 1/2

これまでの取り組み

● ワクチン接種の加速化

▶ 各区接種会場や市施設のほか、民間施設も活用し多くの接種会場を設置

● 飲食店におけるパーティション設置を促進

▶ 飲食店関連での飛沫感染防止対策として緊急的に実施



● 宿泊施設の感染症対策を支援

▶ 感染症対策に係る設備・物品の購入費

● 区役所などでワクチン接種予約の代行入力を実施

▶ 1・2回目接種：2,655件 3回目接種：3,439件（R4.3.7時点）

12

感染拡大防止対策 2/2

これからの取り組み

- ワクチン接種体制の確保
 - ▶ 3回目接種の円滑な実施に向けた体制を整備
- 感染拡大防止対策
 - ▶ 医療機関でのPCR検査や入院医療費を負担などを継続
- 医療提供体制の整備
 - ▶ 救急病院の病床ひっ迫を回避するため医療提供体制の安定化
- 不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査費の助成
 - ▶ 希望する方へ、分娩前にPCR等のウイルス検査を受ける費用を補助



13

経済社会活動の再興 1/2

これまでの取り組み

- 飲食店との取引が減少し、厳しい経営状況が続く関連事業者を支援
- 地域の飲食店等を支援するため、弁当代の一部を補助
- 地域のお店応援商品券（第1・2弾）を発行し、地域のお店の応援と消費を喚起
- MICEの繋ぎ止め・今後の回復に向け、補助制度の拡充を継続



MICE
⇒企業等の会議、研修旅行、国際会議、
見本市等のビジネスイベントの総称

14

経済社会活動の再興 2/2

これからの取り組み

● 地域のお店応援商品券（第3弾）

- ▶ 発行額60億円、市内全域約5,000店舗が参加



● 未来に向けたバス・タクシー利用者支援

- ▶ 令和4年度の新中学1年生・2年生を対象に「りゅーとカード」への無料ポイントチャージなど

● にいがたを贈ろう！農水産物産地直送支援事業

- ▶ 市内産農水産物の発送に係る送料を全額負担



● 新しい観光スタイルの推進

- ▶ 新しい生活様式に基づいた旅行商品造成や修学旅行誘致の支援

15

3

選ばれる都市 新潟市

～ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～

16

暮らしやすいまち
(安心して子どもを産み育てられるまちに向けて)

結婚・出産・子育て期の切れ目のない支援

● 出会い・結婚へのサポート

- ▶ 企業や店舗と連携し結婚を応援する機運醸成
- ▶ 結婚に伴う新生活を支援 など



● 妊娠・子育てほっとステーションの体制強化【拡充】

- ▶ 子ども家庭総合支援拠点の設置
- ▶ 保育コンシェルジュの配置



妊娠・子育てほっとステーション

● 子育て家庭への支援

- ▶ こども医療費通院助成の拡充（高校3年生まで）を継続
- ▶ にいがたっすこやかパスポートの広域連携の拡大
(新たに新発田市・胎内市と相互利用可)

ワーク・ライフ・バランスの推進

● 男性の家庭活躍を後押し

- ▶ 育児休業を取得した男性労働者に奨励金を支給
- ▶ 市内事業者向けにイクボス研修会を開催

17

暮らしやすいまち
(教育環境の充実)

学習プログラムの充実

● 食と農のわくわくSDGs学習の推進【新規】

- ▶ SDGsを踏まえた新たな学習プログラムの開発



トマト収穫の様子

GIGAスクール構想の推進

● GIGAスクール運営支援センターの運営【新規】

- ▶ 1人1台端末環境による本格的な教育活動をワンストップで支援

● 情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置

- ▶ 授業におけるICT機器の活用を支援

地域とともにある学校づくり

● コミュニティ・スクールの推進【拡充】

- ▶ 市内全校で実施

18

暮らしやすいまち (地域共生型のまちづくり、災害に強いまちづくり)

健康長寿社会の実現

- フレイル（虚弱）予防の拡充【拡充】
 - ▶フレイルチェックの実施地域の拡大
- 認知症予防のための補聴器購入を支援【新規】
 - ▶難聴対策が重要との観点から試行的に実施



フレイルチェックの様子

誰もが安心して暮らせる環境づくり

- 地域医療を支える看護人材の確保【新規】
 - ▶新任訪問看護師を雇用する事業所を支援
- 特別な支援が必要な子どもたちのニーズと課題に対応
 - ▶障がい者理解の推進・医療的ケア児の支援体制の充実【新規】

災害に強いまちづくり

- 地域防災力の育成
 - ▶自主防災組織の結成・活動を支援
- 防災行政無線の整備
 - ▶津波浸水想定区域での整備を推進

19

訪れたいまち

その他の取り組みは、「4 都心のまちづくり」参照

日本海拠点都市としてふさわしい都市機能の強化

- 新潟都心地域優良建築物等整備事業の推進【新規】
 - ▶都市再生緊急整備地域の特例を活用した再開発の促進（新潟駅南口西地区）
- 新潟駅周辺地区の整備
 - ▶駅直下バスターミナル・万代広場の整備など



万代広場整備イメージ

観光需要の回復段階に合わせた取り組みの強化

- 観光資源の魅力の向上、誘客・誘致活動の推進
 - ▶体験型観光の創出に取り組む民間企業を支援
 - ▶新しい生活様式に対応した観光情報の発信
- 新・新潟駅観光案内センターの整備【新規】
 - ▶令和6年供用開始を目指し整備

20

成長分野のイノベーション推進

- 脱炭素化に資する設備投資への支援【拡充】
 - ▶ 中小企業者の競争力強化に向け支援を拡充
- DXプラットフォームの推進【拡充】
 - ▶ にいがた2kmのバーチャル空間を再現
 - ▶ 様々なコンテンツサービスの創出・8区の魅力を体験



バーチャル空間イメージ



バーチャルマーケット

企業の成長段階に応じたきめ細かな支援

- 新事業展開へのサポート【新規】
 - ▶ 新事業展開や事業再構築に係る経費および資金調達を支援
- 事業承継・引継ぎの支援【新規】
 - ▶ 事業承継や経営資源の引継ぎに係る経費を支援
- ITソリューション補助金
 - ▶ ITツール導入に係る経費の一部を補助

戦略的な企業立地の促進

- 企業立地の促進【拡充】
 - ▶ 企業立地と工業振興の指針を策定
- 製造・物流の企業立地への支援【拡充】
 - ▶ 多様化する企業の経営形態へ対応した支援制度に拡充

持続可能な農業の推進

- 元気な農業を応援【拡充】
 - ▶ 既存施設を承継する農業者を支援
 - ▶ スマート農業や園芸導入に関する設備投資を支援
- 農業経営の安定化【新規】
 - ▶ 収入保険に加入する農業者を支援



自動操縦トラクター・コンバイン

基本方針I

1/3

人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり

都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進

●新潟都心地域優良建築物等整備事業の推進【新規】

- ▶ 都市再生緊急整備地域の特例を活用した再開発の促進
(新潟駅南口西地区)



戦略的な企業誘致の推進

●スマートビル建設促進補助金【新規】

●デジタル・イノベーション企業立地促進補助金【拡充】

- ▶ にいがた2kmにおける高機能オフィスの整備や、
IT企業を始めとした更なる企業誘致

25

基本方針I

2/3

人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり

産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化

●DXプラットフォームの推進【拡充】

- ▶ DXと異業種連携を通じた新規事業の開発支援



歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出

●にいがたアニメ・マンガフェスティバル（がたふえす）

●新潟シティマラソン【拡充】

- ▶ 文化創造の取組やスポーツを通じた賑わいの創出

26

基本方針I

3/3

人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり

観光資源を活かした交流人口の拡大

- 新しい観光スタイルの推進
- 世界遺産登録を見据えた連携の推進【新規】
- MICEの誘致
- 新・新潟駅観光案内センターの整備【新規】
 - ▶観光資源を活かした情報発信や広域連携の実施



商店街の活性化

- 商店街活性化ステップアップ事業
- 地域を支える商店街支援事業
- 商店街空き店舗活用事業
 - ▶魅力あるイベントや複数商店街の連携を促進



27

基本方針II

1/2

都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる
新たな価値の創造

「新潟の食と花」の魅力発信

- にいがた2km食花マルシェの開催【新規】
 - ▶8区の魅力に触れ、味わいを楽しむマルシェの開催
- 食文化創造都市の推進
 - ▶食と花の関係者のネットワークづくりを推進



28

基本方針II

2/2

都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる
新たな価値の創造

儲かる農業の推進

● 農業DX・SDGsモデル事業への支援【新規】

● スタートアップ企業と市内企業との
協業促進、起業家の育成

▶ スマート農業やフードテック・アグリテックの取組を進め、新たな付加価値を創出



新たな価値やビジネスが創出される環境づくり

● DXプラットフォームの推進【拡充】

● 新事業展開のサポート【新規】

● 新事業展開資金貸付金【新規】

▶ 新事業展開や事業再構築を図る中小企業者を支援



29

基本方針III

1/2

居心地が良く、市民が主役になるまちづくり

都心の水辺空間の魅力を十分に活かした賑わいの創出

● 都心軸・万代橋周辺エリアにぎわい空間の創造
(ミズベリング信濃川やすらぎ提の実施)

▶ 豊かな水辺空間を活かし、賑わいを創出



● 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの策定

▶ まちなかウォークアブルに向けた将来ビジョンを策定

30

くつろげる 歩いて楽しい緑豊かな都市空間の実現

- 東大通 人中心の空間づくりの推進【新規】
- 旧新潟駅前通ストリートデザインの推進【拡充】
- 緑のまちなか空間創造事業【拡充】
- にいがた2kmシェアサイクル導入事業【新規】
 - ▶ 道路空間の再構築や緑化の推進、
多様な交通手段による回遊性の向上



都心における各エリアの特性を活かした
良好な都市景観の形成

- 新潟駅・万代地区周辺の良い景観形成の推進【新規】
 - ▶ 都心軸や副軸、旧新潟駅前通りの景観計画特別区域指定を目指す

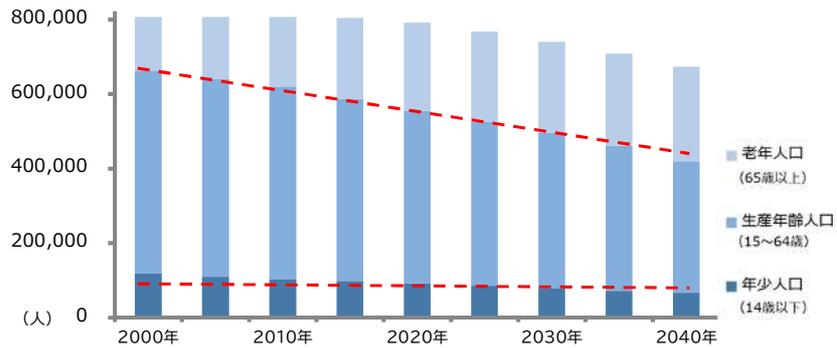
5

—

次期総合計画の策定

本市の将来の人口

- ▶ 人口減少は今後数十年にわたって続くことが想定される
- ▶ 特に生産年齢人口（15歳～64歳）が減少し、
人口の構造（世代間のバランス）が大きく変化していく



33

時代の潮流・価値観の変化

- ▶ 人口減少・少子高齢化の進展 ⇒ 持続可能な社会への転換
- ▶ 地球温暖化・気候変動 ⇒ 脱炭素社会への取り組み
- ▶ 新型コロナウイルス感染症 ⇒ 人々や企業の価値観の変化



34

本市の強み

- ▶ 都市と田園の調和による暮らしやすさ
- ▶ 広大な田園と自然環境にもたらされる豊かな食と農
- ▶ 港、空港、高速道路などを備えた人流・物流の要衝



35

目指す将来の姿を描く次期総合計画

- ▶ 人口減少社会でも、時代潮流や変化する価値観に対応
- ▶ 新潟市の強みを最大限に活用
- ▶ みなさまの思いをもとに、将来の姿を描く計画を策定



36

市民参加事業

多様・多世代 (R3.11開催 参加者36人)

転入者・外国人・障がい者・LGBT・高校生・高齢者など、幅広い属性の方々に「未来の新潟市」について議論



学生 (R3.10開催 参加者30人)

市内外の学生の方々に「2030年の理想の新潟市」について議論



パパ・ママ (R3.9-10開催 参加者26人)

子育て世帯の方々に「理想の子ども数をかなえられる新潟市」について議論



区自治協議会 (R3.11-12開催 参加者210人)

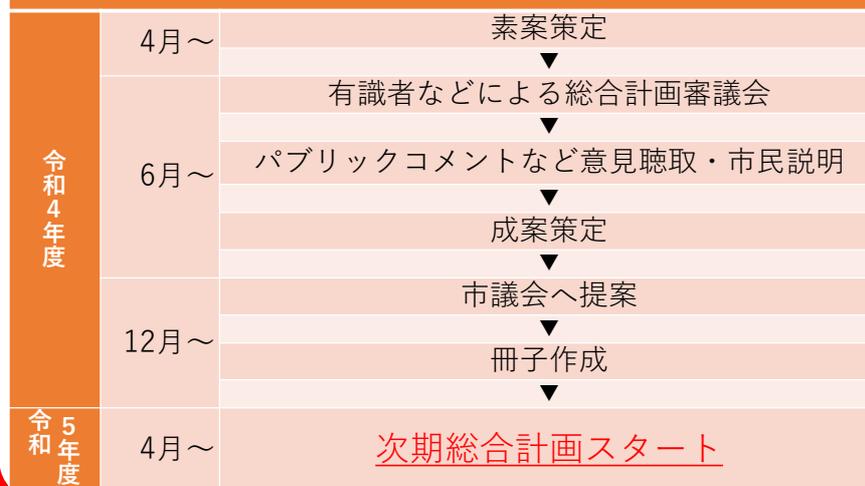
各区の自治協議会委員の方々に区ごとに「目指す区の姿」について議論



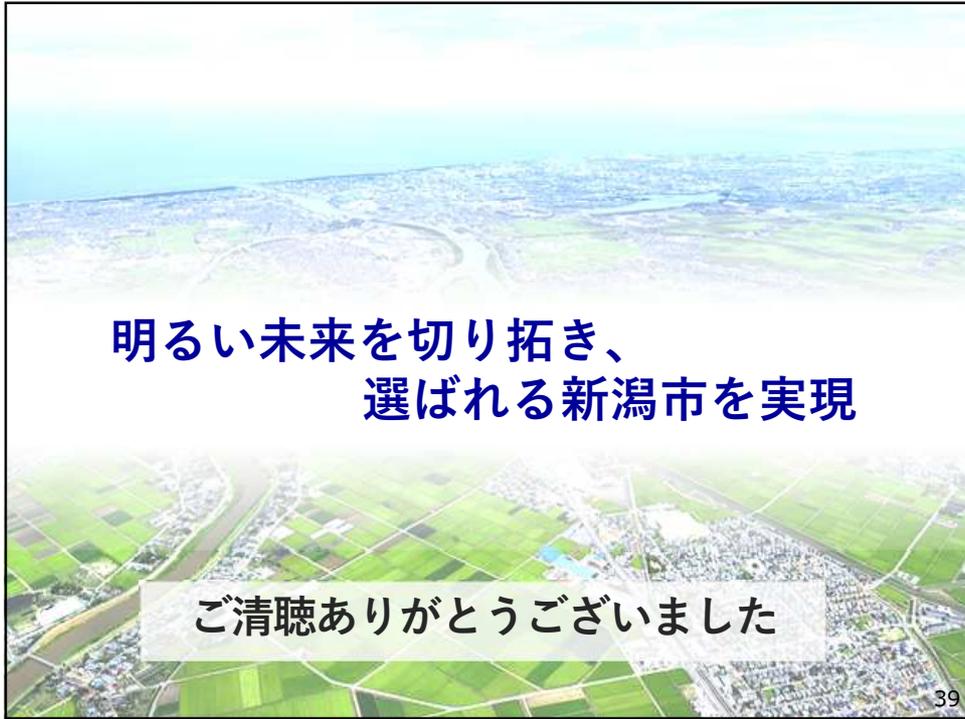
37

計画策定スケジュール

今後のスケジュール



38



**明るい未来を切り拓き、
選ばれる新潟市を実現**

ご清聴ありがとうございました